



Giao lưu



南

Nhật Bản

大阪大学外国語学部・
大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻主催

ベトナム編

第2回 さまざまな視点で世界を見る

～ことばが繋ぐ日越交流～



近年、ますます身近になってきたベトナム。
これまで日越関係をさまざまな角度から見つめてきた4人が
それぞれの視点からベトナムについてお話しします。
4人の語りを聞いて、ベトナムへの理解を深めませんか。
講演会の後は、箕面ビールとベトナム料理で
乾杯しましょう！

馬

翠



2024.7.20 (土) 14:00-16:30

講演会「ことばが繋ぐ日越交流」

〈開会の辞〉Ngô Trịnh Hà 在大阪ベトナム社会主義共和国総領事

〈講演者〉小松みゆき、清水政明、村上裕紀、桃木至朗



場所 大阪大学箕面キャンパス
外国学研究講義棟1階大講義室

参加費 1,000円 (ドリンク1杯&揚げはるまき2本付き)

定員 250名(要事前申込) お申込みはこちら



<https://2024samazama.peatix.com/>

同日開催

Một, hai, ba, Dzó!

17:00~19:00

「ベトナム料理と
箕面ビールを楽しむ会」

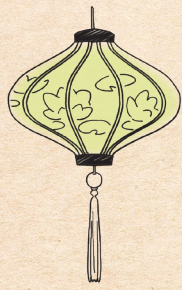


どなたでもご参加いただけます。
この機会にベトナム料理に
親しんでみませんか？

申込
不要



主催：大阪大学外国語学部、大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻
協力：(公財)箕面市国際交流協会、株式会社箕面ビール、大阪大学日本語日本文化教育センター、大阪大学21世紀懐徳堂、大阪大学大学院人文学研究科、
大阪大学大学院人文学研究科附属複言語・複文化共存社会研究センター
後援：在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館、在関西ベトナム人協会、箕面市、箕面市教育委員会



2024.7.20(土)

14:00 - 16:30

at 外国学研究講義棟1階大講義室

Ngôn ngữ

講演会「ことばが繋ぐ 日越交流」

要事前申込

2023年9月21日、日本とベトナムは外交関係樹立50周年を迎えました。法務省出入国在留管理庁の発表によると、2023年末時点における在留ベトナム人数は56.5万人、在留外国人の数としては、中国に次ぎ出身国(地域)別第2位です。技能実習生や特定技能外国人として日本に滞在する人々が半数を占めますが、そのほかにも様々な背景を持って来日した人々がいます。このようにベトナムは、日本と深い友好関係と協力関係にある国のひとつと言えます。

この講演会では、長年ベトナムの歴史や言語を研究する研究者、ベトナムに長年滞在して家族介護をした経験や残留日本兵に関する著作で知られる作家、そして複言語・複数文化共存社会研究センター(阪大ふくふくセンター)でベトナムにルーツを持つ子どもたちの学びを支える学生が、それぞれの目線でベトナムについて語ります。

慕



字

Hữu nghị

麵



講演者プロフィール&講演テーマ



小松 みゆき こまつ みゆき

フリーライター。1947年、新潟県生まれ。70~80年代、会社勤めの後、1992年、日本語教師として2022年までベトナム在住。2014年、認知症の母親とのハノイでの生活を綴った『ベトナムの風に吹かれて』(角川文庫)を出版。後に同タイトルで日越合作映画化となる。2020年、日本語教師時代に関わった、ベトナム残留日本兵の家族をテーマにしたルポ『動きだした時計』(めこん)を出版。2022年春、帰国。東京在住。

「オ父サン私ヲ覚エテイマスカ？」

日本語教室の中に「オ父サン私ヲ覚エテイマスカ?」という中年男性がいました。若い大学生に交じって肉体労働者らしき彼の目はガラガラしていました。冷戦下の国際事情のなかで子どものころに別れた息子は父親と再会したとき自分の声と言葉で気持ちを伝えたいと教室に来ていました。ほかにも2人…。そうした具体例を紹介したいと思います。

清水 政明 しみずま さあき

大阪大学大学院人文学研究科教員。専門はチュノムという文字を用いたベトナム語史の研究、ベトナム語の教育。日本人にとって習得が難しいと言われるベトナム語をいかに楽しく効率的に教えるかを模索中。著書に『世界の言語シリーズ4 ベトナム語』(大阪大学出版会、2011年)、『漢字文化事典』(共編著、丸善、2023年)、『漢字系文字の世界 字体と造字法』(共著、花鳥社、2022年)などがある。

「ことばから見るベトナム風気遣い」

ベトナム語は系統的に日本語と異なるグループに属しますが、日本語と同様長年の漢語との接触により多くの漢字語を保有しています。また、儒教的な道徳観が言語表現の随所に反映されています。この発表では、ベトナム語風の気遣いの仕方など、日本と微妙に異なる部分を紹介しつつ、ことばに込められた真心をお伝えできればと思います。

村上 裕紀 むらかみ ゆうき

大阪大学外国語学部ベトナム語専攻4年生。ゼミではベトナムのハノイに現存する集合団地の建て替えについて研究を行い、留学中にフィールドワークを実施。帰国後は阪大ふくふくセンターでメディアエーターとして活動し、大阪府内の小学校に在籍するベトナム人児童への学習サポートを行っている。

「ことばを通して成し遂げるベトナムへの恩返し」

「誰よりもベトナム語上手になってみせます!」先生方に豪語して入学したベトナム語専攻。しかしベトナム語の習得は生易しいものではなく、今まで幾度となく壁に直面してきました。本講演では私がベトナム語を学ぶ過程で得られた教訓、そしてその教訓を現在どのように役立てているのかについて学生視点からお話させていただければと思います。

桃木 至朗 ももき しろう

大阪外国語大学(ベトナム語科)元教員、大阪大学(教養部、文学部、大学院文学研究科)元教員。現職はハノイ・日越大教員(JICA専門家)。専門は歴史学、東南アジア地域研究、歴史教育。著作に『ベトナムの事典』(共編著、同朋舎、1998年)、『チャンパ 歴史・末裔・建築』(共編著、めこん、1999年)、『新版東南アジアを知る事典』(共編著、平凡社、2008年)、『市民のための世界史 第2版』(共編著、大阪大学出版会、2024年)などがある。

「ハノイで日越交流の将来を考える」〈オンライン講演〉

国交樹立50周年を祝った昨年、日越関係は過去最高の盛り上がりといわれましたが、日越双方の相手に対する研究や理解、それに必要な語学力や自国についての知識は、それにふさわしいものになっているのでしょうか。この発表ではあえて明るい話題と深刻な弱点の両方を取り上げ、これからの国際交流や外国語学部のありかたを考えてみたいと思います。

2024.7.20(土)

17:00 - 19:00

at 外国学研究講義棟3階ピロティ、阪大広場

どなたでも当日参加可



ベトナム料理と箕面ビールを楽しむ会

comm cafe(コムカフェ)のシェフたちが腕をふるいます！箕面ビールで乾杯しましょう！

講演会にご参加された方

ドリンクチケット(箕面ビールもしくはソフトドリンク1杯)とフードチケット(揚げはるまき2本)付き！



箕面ビール
600円~

※ソフトドリンクもあります

Một, hai, ba, Dzô!



揚げはるまき | **chả giò**
200円/本、500円/3本
ビールとの相性は最高！



バインミー | **bánh mì**
600円
具だくさんのベトナム風サンドイッチ



混ぜビーフン | **bún khô**
700円

ベトナムビーフン(bún)をたっぷりの具材と一緒に！



チキンライスプレート | **cơm gà**
800円

チキンライスになますサラダとエビせんべいを添えて



(料金は全て税込)



主催：大阪大学外国語学部、大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻
協力：(公財)箕面市国際交流協会、株式会社箕面ビール、大阪大学日本語日本文化教育センター、大阪大学21世紀懐徳堂、大阪大学大学院人文学研究科

協力組織のご紹介

(公財)箕面市国際交流協会(MAFGA)

箕面市国際交流協会(Minoh Association For Global Awareness/略称MAFGA)は、1992年6月に設立され、2022年には創立30周年を迎えました。2013年からは、箕面市小野原西にある「箕面市立多文化交流センター」の指定管理者となっています。また、2023年からは、箕面船場阪大前駅にある「箕面市立市民ギャラリー(愛称:チカノバ)」の指定管理も行っていきます。外国人市民の人権保障、多文化共生社会の実現、市民参加による地域づくりの推進という3つのミッションを掲げ、多くの市民、ボランティア、行政との協働のもと、外国人市民の相談窓口やにほんご・子ども事業、大学のキャンパスを活かした「学生・若者が地域とつながる居場所『ひとこま』」など、さまざまな事業を展開しています。



株式会社 箕面ビール

箕面ビールは、大阪箕面に誕生したブリュワリー(ビール醸造所)で、1997年に製造を開始して以来、これまで数々の世界コンクールで金賞を受賞するなど国内外から高い評価を得ており、地元箕面市民に愛されている企業の一つです。

また、地元の自治会と共催のイベント「創業感謝祭」を開催するなど、地域活性化にも力を入れています。

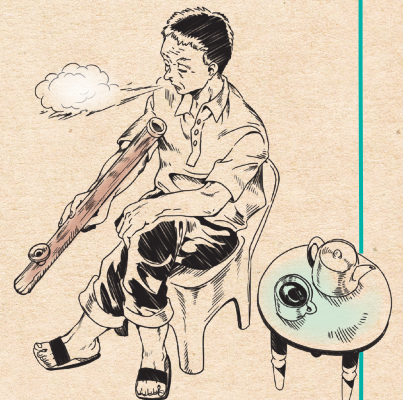


複言語・複文化共存社会研究センター(阪大ふくふくセンター)の紹介

大阪大学大学院人文学研究科附属複言語・複文化共存社会研究センター(通称、阪大ふくふくセンター)は、2023年4月に大阪大学箕面キャンパス(Osaka University Global Campus)に設立されました。25の専攻語を有し、地域研究・語圏学を専門とする教員や学生が多数在籍するという箕面キャンパスの強みを活かして、日本で学び育つ外国にルーツを持つ子どもたちの支援のために活動し、地域社会ひいては日本全国における課題解決に取り組む環境を整備することを目指しています。



アクセス



交通アクセス

電車

北大阪急行線
箕面船場阪大前駅下車 徒歩約3分

バス

阪急バス
G 箕面小野原線(小野原東～呉羽の里)
船場団地 下車 徒歩約1分
H 箕面中央線(阪急石橋北口～千里中央)
箕面船場阪大前駅 下車 徒歩約3分
I 小野原東線(小野原東～千里中央)※朝・夕のみ
船場団地 下車 徒歩約1分
K 豊中市内線(阪急豊中駅～千里中央)
新船場南橋 下車 徒歩約7分